

令和2年度第1回交野市図書館協議会 議事録

1. 日 時 令和2年7月28日(火) 午後3時～4時5分
2. 場 所 交野市立青年の家2階 会議室
3. 出席者
 - (1) 委員 木下会長、中嶋副会長、青木委員、足立委員、有山委員、石倉委員、今堀委員、川村委員、神原委員、栗原委員、小嶺委員、竹田委員、向井委員、山岡委員(欠席:良委員)
 - (2) 事務局 北田教育長、平井図書館長、川村課長、福田課長代理、和田係長
 - (3) 傍聴者 なし

4. 次 第

- (1) 開 会
- (2) 辞令書交付
- (3) 令和元年度事業報告について
- (4) 令和2年度事業計画について
- (5) 第2・3次交野市子ども読書活動推進計画進捗状況について
- (6) 第4次交野市子ども読書活動推進計画について
- (7) その他
- (8) 閉 会

5. 概 要

- (1) 開会
- (2) 辞令書交付
- (3) 教育長挨拶: 教育行政に尽力、特に図書館行政に感謝している。

令和元年度は星田会館に一部図書室機能を移設、図書館運営方針の策定があった。

令和2年からは新型コロナウイルス感染防止対策(以下、コロナ対応)の観点からさまざまな影響があった。2月下旬からイベント中止、3月から一部臨時休館措置、4月から緊急事態宣言を受け全面休館、図書館を楽しみにしている方には不便をかけた。

5月13日から予約本受渡中心に一部開館、府内他市町村に先駆けて5月23日から新聞閲覧中止等制限付き開館を行った。6月から制限付きとして開館している。市民の方々の影響は大きい。

昨年度は5回協議会を開催し、図書館運営方針を策定した。今年度はそのような大きな動きはないが、委員のみなさまのお知恵をいただきながら、図書館運営が充実するように図っていきたい。忌憚のない意見の協力をお願いする。

(4) 委員出席状況確認 委員 15 名中 14 名の出席にて、交野市立図書館条例第 4 条第 6 項により会議成立

(5) 配布資料確認： 事前配布「交野市立図書館令和元年度事業報告」
「交野市立図書館令和 2 年度事業計画」
「第 2・3 次交野市子ども読書活動推進計画 令和元年度進捗状況表(案)」
「交野市立図書館運営方針」

(6) 令和元年度事業報告について
事務局より資料に基づき説明

質疑応答

会 長： 毎年交野市立図書館の事業報告がよい。数字の詳細さ、丁寧に報告がされていて歴代館長の心づかいが感じられる。質問、お気づきの点等ないか。

会 長： リサイクルフェアの順延、時期を見計らって行うのか。

事務局： 今年度のイベント、なつのおたのしみ会、一日図書館員等すべて中止。リサイクルフェアについては形を変えて開催を考えているが、状況により中止になるかもしれない。

委 員： 4 か月児健診時のブックスタートについて。4 月は協力を予定していたが休止。5、6 月はどうだったかわからないが、外部の人間はコロナ対策の観点から密になるといけないので協力はいらないと認識。今年度引き続き協力はいらないと聞いたが、システムの（赤ちゃん絵本の）手渡しについて方法が変更したのか。

委 員： 健やか部に在籍している。母子手帳発行、妊娠・乳幼児健診等の担当部署。4 か月児健診も担当している。ゆうゆうセンターにて 4 か月児健診を行っていたが、コロナの影響で市内の医療機関で個別に受診することになった。今年度ゆうゆうセンターでの開催はしない。ブックスタートについては、4 か月児健診時に実施できないため、乳児が 1 年間に受けられる健診があるが、9 か月以降 1 歳半健診の通知時にブックスタート引換券を同封してここに図書館へ本を受け取りにいていただく。コロナ対策の一つとして感染対

策防止の観点で特殊な形式であるが、コロナが落ち着いていたら元に戻す予定。現在ではコロナが不安定な状況であるため、今年度はこの形。

委員： 引換券をもって図書館へ行けば、何らかの説明を司書からしていただけるのか。

事務局： はい

事務局： 市内全図書館・室で数冊用意しているので、引き換え券と交換して、説明をして絵本を渡している。

委員： わかった。

会長： ブックスタートは読みきかせ、絵本と説明が通常ならセット。絵本を届けるとい形を実現していただいている。

委員： 本を届ける以外にも本で育てる、司書から丁寧に説明があったので貴重な機会だったと残念に思っていた。

会長： 図書館の利用につなげていただく

委員： 本で育てることが基本。初めての子育てするお母さんはまだ聞く耳を持っている。幼児期から学齢期のよみきかせにつながるので大切なこと。

副会長： 逆手にとって、ゆうゆうセンターではなく、図書館へ行っていただけることをメリットとして前向きにとらえる。

会長： 図書館へ行っていただける、利用につなげることに。

(7) 令和2年度事業計画について

事務局より資料に基づき説明

質疑応答

副会長： まちの図書館化計画、どのような運用？リサイクル本を借りてそのまま自分のものにしても、いつ返してもよい？

事務局： 基本的にはたくさんの方に利用してもらいたいので返却を依頼。毎年秋頃各事業者へアンケート調査を行っている。利用の有無、本の入れ替え・増冊の要不要等。それを基に入替等を行っている。

会長： 「まちの図書館化計画」についてはP18にあるとおり。

副会長： 要望は多いか？

事務局： 150冊や200冊ほど置いている。だいたい150冊程度ずつ配布・設置、毎年数か所から入替要望があるので利用はあるよう。

副会長： 中身についての要望は？

事務局： 新しいものを希望されるが、基本的には図書館でのリサイクル本。財政的にも新刊を配布することはできないのであくまでもリサイクル本対応。

会長： 「まちの図書館化」は将来の図書館ネットワークにも一部入っている。P18

にもあるようにいろいろな事業者の参画により協力がある。

副会長： 自動車文庫の利用は？

事務局： ブンブン号は図書館・図書室に行けない方のために2週間に一度市内12か所を巡回している自動車文庫。平成22年度をピークに少しずつ減少している。星田会館図書室開室によりその周辺の利用が若干減っている。コロナのため休止していたのでそれも影響してくるだろう。

副会長： だいたい午後1時半から5時の間、巡回しているか。児童書の貸出が減少、子連れの母親の利用が減っているのか、年配の利用が多いのか、カウンタースタッフの関係等。ときどき停車しているのを目にする。

事務局： 時間帯にもよる。3時30分からスタートのステーションなら小学生が間に合うし、時間帯が合わなければ子どもが全く来なかったりする。

会長： 幼稚園、保育園への巡回は？

事務局： 通常の自動車文庫運休時の7月後半から8月を利用して幼保巡回を行っている。市内23園へアンケート調査し、夏休み期間を利用して希望した園へ乗り入れしている。

委員： 事業計画7番目、図書館の今後の運営について。青年の家図書室は5年か数年後に新庁舎に移転するのか。倉治図書館は蔵書も多いが、青年の家は圧倒的に狭く蔵書も少ないのに貸出が多い。地の利か。自分もそうだがほかの教室がある複合施設だからか。借りやすい、行きやすい図書館があれば検討に入っていればよいなど考える。

会長： 市の総合計画に関係することになるか。

事務局： 中央図書館建設計画が本庁機能に集約するというのがあるのでそれで進めると思うが、図書館個別に建設というのは現実的に厳しい。

委員： わかった。

委員： 今の話に関連するかどうか。先日星田会館図書室を利用、読みたい本がなかったのので聞いたら倉治図書館に所蔵があり、取り寄せ、翌日借りられた。こういうシステムなら、例えば市役所窓口、ゆうゆう窓口でどこでも検索できるシステムを作って、近いところで貸出できるというのがよい。

委員： 返却は近いところがよい。

委員： そう。借りるのも倉治図書館から星田会館図書室へ等の搬送・受取のシステムのように、近いところで貸出できたら非常に便利である。

会長： 市内全図書館・図書室ではどこで借りてもどこで返してもよいシステムになっている。府内全体でも例えば茨木市図書館に所蔵があれば府内のネットワークで交野市で借り受けすることができる。委員が言うのは、青年の家図書室が駅から近いし便利だということか？

委員： 地の利があるのかなということ。（どこでも検索、貸出・返却できる）シ

システムが充実していれば。

会 長： 蔵書検索はインターネットがつながっていれば検索することができる。委員の意見は図書館だけでなく、市のどこかの窓口等で貸出・返却できればよいということか？

委 員： そう。そうすれば読書率が伸びるのでは？

会 長： 全国的に取り組みとして、駅前の大型スーパーで図書館の本の貸出・返却ができる場所があった。委員から意見をいただくとすべて実現できるわけではないが可能性としてあるのではないか。

会 長： 今年度も事業計画どおりに進めていただきたい。

事務局： はい

会 長： 続いて、令和元年度の第 2・3 次子ども読書活動推進計画進捗状況について報告をお願いします。

(8) 第 2・3 次交野市子ども読書活動推進計画進捗状況について

事務局より資料に基づき説明

質疑応答

会 長： 事務局より説明のあった項目にある A・B・C などの評価について、これでもよろしいか。A～E の評価については P2 にある説明を参考に。

コロナの影響により不可抗力で評価が下がったものもあるかと思う。意見はないか。あるいは逆にこれについて評価が上がるではないか等意見を求めるが。

委 員： コロナの影響でやむを得ず B 評価になってしまったなどという項目について、何か救済というか、ただし書き等を付けるのはどうか。

会 長： A→B だとか C→D となった等、コロナの影響により休止や中止となったことで評価が下がったものについては、追記する形をとると。

事務局： コロナの影響だけによるものかどうか検討したい。

会 長： コロナの影響以外で実施できなかったというのではなく、P2⑤や P3④等は対象になるのでは。補足説明があれば客観的に判断でき、よりよい進捗状況報告になるのではないかと思う。反映していただければよい。

(9) 第 4 次交野市子ども読書活動推進計画について

事務局より説明（資料なし）

令和 3 年度中の策定を目指す。状況によっては協議会にて意見をいただいたり、説明させていただく場合がある。

会 長： 大阪府の策定状況、進捗状況は？

- 委員：大阪府の状況だが、令和3年度から第4次子ども読書活動推進計画スタート、今年9月初旬に社会教育委員会会議開催を報道発表、その際に概要説明12月末までにパブコメ、来年度当初よりスタートの予定。
- 会長：令和3年度、府を大いに参考に第4次子ども読書活動推進計画を策定していただきたい。
- 副会長：学校図書館の状況を教えていただきたい。
- 委員：岩船小学校長。通常どおり開館ができていない状況。手洗い励行。休み時間に自由に本を手にとるというのはだめ。ボランティアに休み時間の貸出を協力いただいていたが、それもできていない。
- 委員：第一中学校長。学びあいサポーターとして学校図書館司書の方に来ていただいて、図書館整備・蔵書整理を行っている。加えて忙しいなか図書館ボランティアに来ていただいて、図書館の活用、ぜひ生徒に使ってもらいたいとの思いで学びあいサポーターと共に図書館整備を行っている。学習面ではスクールヘルパーウェイト事業として学校図書館の本を活用して調べ学習、中学生でも取り組めるというのをいろんな教科で相談しながら生徒の学習に介している。
- 委員：交野高校校長。高校の図書館では、もともと図書館司書配置をして常時開館できる状態としていたが、平成21、22年頃に司書を減にすることになった。司書教諭の活用する事態となり、府立高校ではたいへん不評だったが、校内で司書免許を持っている方がいたら校内運用を行うという指示があった。学校図書館利用の衰退にもつながるとかなりの反対もあったが、今もその状況が続いている。昼休み、放課後を開館、図書委員の活用もあり、一定の利用率を保っている。府教委でも推進しているビブリオバトルという図書の紹介でどちらのプレゼンがよかったかを授業で取り組み、図書の興味を持たせながら、高校生にもなってビブリオバトルで初めて本を読んだという生徒もいた。そのような効果がある。これをきっかけに今後生涯に渡って読書に触れるという機会にしたい。現状はこのようなもの。
- 会長：小中高校の学校図書館の状況がわかった。

会長：他に意見はないか。

副会長：交野市立図書館には子ども文庫に助成いただき感謝している。

3、4、5月のコロナでは、自治会館等も閉館し、こんな時こそ図書館や文庫が必要なのと歯がゆい思いだった。

豊かな自然環境と良好な住環境、高い文化環境を備えた交野市に永住したい、あるいは他市から移り住みたいと思ってもらえるような公共図書館を切望する。ついては、以下3点、図書館協議会で、図書館、生涯学習、学

校教育に携わる方々にお願いしたいと思う。

①図書館職員の適正配置にご尽力いただきたい。②学校図書館の充実にご尽力いただきたい。③肉声の大切さ、ふれあいの大切さを共有し、それを抜きにしたサービスなどに走らないでいただきたい。

①図書館職員の増員

毎回言っているのだが、職員一人に人口 10,000 人はひどすぎる。(『交野市図書館整備構想』参考資料 1986 年版 複数分館を有する人口 6 万~12 万都市、図書館奉仕比較表、他市は職員一人当たり 4,000 人前後のところ交野市 7,000 人) 貸出冊数 43 万冊に職員 7 人は少なすぎる。(『交野市図書館整備構想』貸出冊数 3 万冊につき職員 1 名として算定を参考)

新しくなった星田会館図書室、第 1 児童センター子ども図書室の職員 0 人では期待が持てない。中央図書館ができたとき星田地区、幾野地区の人たちの満足が得られる分館として機能させておかななくてはいけないと思う。アルバイトや非常勤がいるといわれるかもしれないが、窓口、レファレンスや選書、出前講座などの実務はもとより昨年度策定された運営方針に則ったサービスの実行、子ども読書活動推進計画の実行には、長期的展望にたてる職員が必要である。たくさんサービスを広げても不十分なままでは「絵に描いた餅」である。職員の研修の機会の確保と何よりも利用者との時間がとれることが高いサービスにつながると考える。

②学校図書館の資料の充実と学校司書の配置

近年、親も子どもも忙しいので近くても図書館に行けない、行かない。文庫も厳しい状況に置かれている。そんな中、学校図書館は市内の小中学生の読書環境を支え、子どもの育ちに大きな役割を果たしてくれる。「小中一貫教育」がスタートした。「生きる力」とともに「学びの三本柱」とされた「ことばの力」「プログラミング」「外国語」それらはすべて「知的好奇心」「想像力」をぬきにしては育成できないと考える。何をどう読むか、短い子ども時代に選ばれた本を手渡したいものである。また「アクティブ ラーニング」、複数の教科にまたがった学習、図書室を活用した学習などその指導にあたる先生方にとっては「学校司書」はこれまで以上に重要である。1 校 1 名の「学校司書」の配置を積極的にすすめていただきたい。

広報 katano4 月号「交野市は 9 年間で育てます」とあったが、入学前幼稚園、保育所へのアプローチが不十分では期待できない。放課後児童会の団体貸出、自動車文庫の児童書貸出の減少が気になった。いずれも図書館同様、資料と人につけると思う。

③市民を育てる図書館に

乳幼児、障害者、高齢者の読書で、読んでもらえばできる読書もある。楽

しい時間になる。支援を必要とするひとたちの人権を守ることは、市への信頼につながる。今、オンラインやバーチャルなどがもてはやされていることに危機感を覚える。これまで「肉声のもつ力」を体験してきた。だから「読む・書く」以上に「聞く・話す」ことの大切さを訴えてきた。機器を使った授業も1対1の人間関係がきちんとむすべていることが大前提だと思う。

「with コロナ」「新しい生活様式」などというあいまいなことばで多くのストレスをかかえているであろう子どもたちに一日も早く幸せな子ども時代をと思い、そのお手伝いが少しでもできたらと思っている。

会長： 以上をもって令和2年度第一回図書館協議会を終了したい。

(10) 館長挨拶： 今年はコロナということでいろんなところに影響がある。まだまだ予断を許すことなく、適切に対応していきたい。

先ほどの第4次子ども読書推進活動計画について、委員のみなさまにこの計画にどのようなことを盛り込んでほしいか、いろんな思いがございましたら図書館まで提案いただけるとありがたい。

これからますます夏本番となってくるが、くれぐれも身体に気を付けていただけるようお願いするとともに閉会の挨拶とする。

(11) 閉会

以上

配布資料

- ① 交野市立図書館条例
- ② 交野市図書館協議会委員名簿
- ③ 交野市立図書館令和元年度事業報告
- ④ 交野市立図書館令和2年度事業計画
- ⑤ 第2・3次交野市子ども読書活動推進計画
令和元年度進捗状況表（案）
- ⑥ 交野市立図書館運営方針